

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
リーディング3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	早川治			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
譜面が読めて普通にプレイ出来るに留まらず、昨今のライブ、コンサート等で不可欠な「電気」についての基礎知識など初歩的な事を習得する。											
到達目標											
個人的にいくら練習を積んで各パートのプレイテクニックが高くなるうとも、「プロ」の現場ではそれ以外に知っていなければならないこと、出来ていなければならないことが山ほどある。ただ弾けるだけでは不十分なので1、読譜が出来る。2、ライブステージにおいて必要な電気知識を習得する事を目標とする。											
授業方法											
プロの現場では読譜が出来るだけでは仕事の半分も適わず、その他たくさんの「現場必須項目」がある事を理解する。一般的な読譜に加えプロならではの譜面の書き方はもちろんのこと、壁コンセントの極性とといった簡単なことから、アース、ヘルツ、位相、信号の波形とノイズの関係、各楽器の特徴及び簡単な扱い方、アマチュアの方が「やっぱりプロはすごい！」と憧れるような良い音の作り方までの習得を目的とする。											
成績評価方法											
試験30%(試験と課題を総合的に評価する)、小テスト10%、提出物20%、成果発表(口頭・実技)30%(授業内容の理解度を確認するために実施する)、平常点10%(積極的な授業参加度、授業態度によって評価する)											
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。音楽業界の動きや最先端技術等について概説するので、自分でも情報を収集し、知識の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。CD、DVD等随時使用。											
回数	授業計画										
第1回	音部記号(1)小ヴァイオリン記号。100V(電圧)で15A(電流)の電気の熱量は1500Wの計算式を理解する。										
第2回	音部記号(2)ヴァイオリン記号。ボーカルに適したマイクの種類を理解する。										
第3回	音部記号(3)ソプラノ記号。ドラム各パーツに適したマイクの種類を理解する。 (1)										

## リーディング3

第4回	音部記号 (4) メゾソプラノ記号。ドラム各パーツに適したマイクの種類を理解する。(2)
第5回	音部記号 (5) テノール記号。ギターアンプに適したマイクの種類を理解する。
第6回	音部記号 (6) バス記号。ベースアンプに適したマイクの種類を理解する。
第7回	音部記号 (7) 低バス記号。ヘルツと位相について理解する。
第8回	スコア譜 (1) オーケストラ用スコア譜。多数のマイクを立てる事による位相のズレを理解する。
第9回	スコア譜 (2) バンド用スコア譜。インピーダンス、D. I. を理解する。
第10回	音階 (1) チャーチモードスケール前半。真空管について理解する。(1)
第11回	音階 (2) チャーチモードスケール後半。真空管について理解する。(2)
第12回	音階 (3) ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケール。ボーカルの録音の仕方を理解する。
第13回	音階 (4) オルタードスケール、リディアント7スケール。ドラムの録音の仕方を理解する。
第14回	テンション (1) ナチュラルテンション。ギターアンプの録音の仕方を理解する。
第15回	全体のまとめ。